・(4-1) 文化課所管事業

- 1. 文化財総務費
- 2. 指定文化財管理
- 3. 埋蔵文化財分布調査
- 4. 民間開発に伴う緊急発掘事業
- 5. 文化財普及啓発事業
- 6. 重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業
- 7. 文化財保存修理事業
- 8. 文化振興総務費
- 9. 市美術展
- 10. 椿まつり事業
- 11. 椿サミット交流事業
- 12. 文化会館管理
- 13. 情報文化振興財団
- 14. 芸術鑑賞事業
- 15. 文化財施設管理事業
- 16. デジタル資料館事業
- 17. 埋蔵文化財整理事業・二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査
- 18. 喜多家住宅調查事業
- 19. 四十万安養寺線外1路線整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査
- 20. 野々市中央地区整備事業 (にぎわい交流ゾーン) (文化課分)
- 21. 中林土地区画整理事業に伴う発掘調査
- 22. 西部中央土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査

事業概要

	事	又は事業の名	⊅ 4⁄π	文化財総務費						所	部	教育文化	部
	争伤	人は争未の1	白化小	人们的秘伤复						管	課	文化誤	3
	1	総合計画			ライフを楽しむまち【生	E涯学習·	教育	ī)		Z		自治事務	
	1	総合計画 該当施策	5 文化	との継承と創造	と担い手の育成					区分		ノフト事業	
	44 -4			<u>比財と文化資産</u> 票3 生涯学習の								単独事業	
	教育	育振興基本計画 施策名	基本的	まる 主涯子音の も策(3) 伝統行	推進 ・事・文化財の保護と	舌用							
	,	行政改革]始·終了年	
	1 	TI 政战争 推進項目	00 該	当なし							業開始	**	年度
			数 套 性	興基本計画					文化財保護法第190		了予定	**	年度
事	実別分	施根拠となる ↑野別計画	教育旅	《基本 訂四		根拠法令 野々市市文化財化]14条		
業			野々市市	が文化財関係回	団体・市民に				文化財関係団体の活	5動(建進		
事業の概要		事業の対象 誰が・誰に)				事業の目的							
			·文化財	保護審議会の開	催				·文化財保護審議会	の開	催(1回)		
	事	事業の内容	·富樫氏 ·文化財	堅氏頌徳会の活動助成 比財の調査・指定			・富樫氏頌徳会の活動助成・文化財の調査・指定(無形民俗文・文化財の調査・指定(無形民俗文荒川神社絵馬の市文化財の指定) 活動実績				成 形民俗文(之財調査、 二	日市
由		種別		指標の名	名称	単位		最終目標(直 平成28年度	平	成29年度	平成30	D年度
事業の指標		-h m lk l#	市指定第	無形文化財の件数 度に増加する件数	数(かっこ内数値は !)	件		4	1(0)		1(0)	1(0))
指標	,	成果指標											
	区分 平成28年度			Ψ.	成29年度		平成3	0年度予算					
事			<u>支出金</u>	(千円)		0			0	<u> </u>			0
事業の	事	期 県支に 地方((千円) (千円)		0			<u> </u>	1			0
コ	事業費	内との作		(千円)		0			0	1			0
コス-	質	一般		(千円)		2,511			2,426			2,58	31
٢		事業費	t	(千円)		2,511			2,426	2,581			

実施計画

		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	- -	今後3箇年の展開	→	\rightarrow	→
1	年度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・文化財保護審議会の開催・富樫氏頌徳会の活動助成・無形文化財等の調査	・文化財保護審議会の開催・富樫氏頌徳会の活動助成・無形文化財等の調査	・文化財保護審議会の開催・富樫氏頌徳会の活動財成・無形文化財等の調査

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の調査・指定、文化財保護審議会の開催、歴史関係団体への助成を行っていく。特に無形民俗文化財の調査については継続して行い、文化財指定を目指したい。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	文化財の保護のため、指定の必要な文化財の把握・精査が必要である。 今後の改善事項 (ニーズ・課題等)				

事業概要

	主玖	. ∇ /+ :	事業の名	7 称	指定文化財管理							所	部	教	(育文化部
	子加	人(4)	事未の1	コ が 3	日足人儿別日生							管	課		文化課
	á	総合言	計画			ライフを楽しむまち【生	涯学習·	·教育	到			X		自治	
		総合言 該当加	·策		この継承と創造 こ財と文化資産	と担い手の育成 の活用						区分		ソフト 単独	
	数者	育振興 第	基本計画		13 生涯学習の									+ 333	于木
	TAF	施策	名	基本的施	策(3) 伝統行	事・文化財の保護と	舌用								
	1	行政は		00 該	当なし							車	事業の 業開始	開始・	<mark>終了年度</mark> * 年度
	ŧ	推進項	目	00 該	ヨなし								了予定	*	1 10 4
		- 10 14	0 \ 4. 7	教育振興	基本計画					野々市市文化	財保護			13条	, ,,,
事		他根拟 分野別	心となる 計画					;	根拠法令						
事業の				野々市市	が市民に					指定文化財の)保存·管	き理る	とその活月	目であ	る。
概要	事業の対象 (誰が・誰に)							事	事業の目的						
	事	指定文化財のうち、史跡の清掃、樹木の剪定、芝除草剤散布、殺虫剤散布を行い、管理の万全を 防草剤散布、殺虫剤散布を行い、管理の万全を 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成を行う。 国重要文化財喜多家住宅の管理助成を行う。				を図る。 う。		·成29年度 活動実績	・市史跡農事社跡・住吉の宮・富樫館跡石碑・徹通 茶毘の墓の清掃(町内会等に清掃を依頼) ・市史跡富樫館跡・農事社跡の樹木の剪定と殺虫き 布及び、守護所富樫館跡の芝刈りと除草剤散布(シ ルバー委託) ・市指定文化財水毛生家住宅の管理助成 ・国重要文化財喜多家住宅の管理助成及び庭木剪 ・御経塚遺跡復元住居燻蒸				頁) 定と殺虫剤散 消散布(シ 対		
市		種別	剖		指標の名	吕称	単位		最終目標(直 平成28	3年度	平	成29年月	Ŧ	平成30年度
事業の指標		-b-m-'		管理·助	成する市指定文化	化財数	件		_	- 8			8		9
指標	,	成果排	旨標												
				区分		平成28年			<u> </u>	成29年度			平成	30年	度予算
事		財	国庫3 県支b	支出金 4 全	(千円) (千円)		0				0				0
事業の	事	源	地方值		(千円)		0				0				0
コ	事業費	内訳	その化	<u>t</u>	(千円)		0				0				0
スト			一般則	才源	(千円)		468			93	9				1,777
			事業費詞	it	(千円)		468			93	9	1,777			1,777

実施計画

	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
<i>t</i> 1	今後3箇年の展開	\rightarrow	→	→
年度計画	また 実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現状のまま維持	現状のまま維持	現状のまま維持

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		市は所有する指定文化財の保存・管理の責務がある。史跡については、存在地の 町内会等に維持管理を依頼しており、市民による文化財管理への参加は、地元 の文化財への愛着を深めるためにも有意義である。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	継続して指定文化財の保存・管理	里を行	うっていく。

事業概要

	主政	₹∇1+	事業の名	7 称 押 带	文化財分布	国本						所管	部	教育文	化部
	于初	八仏	事未の1	上上版	ᆺᇈᅅᇧᇄ	叩 基						管	課	文化	課
	ž	総合該当	計画			ライフを楽しむまち【生	涯学習·	教育	〕			区分		自治事務 ハード事業	-
	i	該当	施策		極承⊂剧垣 ちの歴史再	と担い手の育成 発見						分		、一ト争未 単独事業	
	教育	育振興:	基本計画 [名	基本目標3	生涯学習の		舌用							1 324 3 7 7 1	
				王十.63%637(0) 1249013	T XIOMONIQUE	ш713					事業の開始・終了年度			丰度
		行政i 推進 ¹		00 該当な	L							事業開始 ** 終了予定 **			年度 年度
				教育振興基本	本計画					文化	財保護法第93系				十尺
事	実施	施根抗 分野別	処となる J計画	3711332771				,	根拠法令	, , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
事業の				野々市市が開	開発事業者に	-									
概要)対象 誰に)					事業の目的		開発事業に係る埋蔵文化財の取扱について適正化を図る上で、埋蔵文化財包蔵地をより高精度に把握するため。					B握する
				小型掘削機に有無を確認す		査を実施し、埋蔵文化	上財の			試掘	調査14件				
				有無を確認 9) වං										
	事	事業 <i>の</i>	內容						成29年度 活動実績						
車		種	別		指標の名	S 称	単位		最終目標個	直	平成28年度	平	成29年度	平成	30年度
事業の指標				(数値目標設	と定になじまれ	ない)	**	**		**			**		**
指標		成果指標													
				区分		平成28年	度		平	成29	9年度		平成3	0年度予算	草
事		財		支出金	(千円)		0				0				0
事業の	事	源	県支b 地方((千円) (千円)		0				0				0
U)	事業費	内訳	<u> 地力1</u> そのff	•	(千円)		0				0				0
コス・	費	兀	一般則		(千円)		536				517			8	381
۲	事業費計 (千円)			536	517			517	881			381			

実施計画

		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
ź	.	今後3箇年の展開	→	→	→
工月言正	主度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善市街化が進む野々市市においては、今後も開発に先立つ試掘調査に対応していく。埋蔵文化財の確実な保護のため、埋蔵文化財包蔵地の範囲を適宜見直し、適切な分布調査を実施する。		
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)		
改善点	世蔵文化財の確実な保護のため、埋蔵文化財包蔵地の範囲を適宜見直し、適切な分布調査を実施する。 今後の改善事項 (ニーズ・課題等)				

事業概要

	車数	又は事業の	7夕称	足問問祭に伴る	緊急発掘調査事業						所	部	教	育文化部
	于 7为	スは事業の	つつか	民间開光に仕り:	^{米心光} 猫們且 才未						管	課		文化課
	,	総合計画			ライフを楽しむまち【生	涯学習・	教育	ī]			ıх		自治事	,,,
	1	総合計画 該当施策			と担い手の育成						区分	,	ハード	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
			# + -	<u>化財と文化資産</u> 標3 生涯学習の									単独導	手 表
	教育	育振興基本計画 施策名			・ 事・文化財の保護と注	舌用								
	١.	行政改革											見始·終 **	<u> </u>
	1	推進項目	00 該	ぎ当なし								業開始	**	年度
			<u></u> 教育振	興基本計画					女化 目	財保護法第93多		了予定 [00冬		年度
	実	施根拠とな	5 FA FA JAC:	关 坐不可凹			1	根拠法令	A 107	の保証を	K 7.	333 A		
事	5	野別計画						123/0/21						
事業の			野々市で	もが開発事業者に	-					的な開発事業に				
概要	ョ	事業の対象							実施し	し、事業の円滑 <i>な</i> 明らかにする。	详進行	丁に貸する	ととも	に、郷土の歴
要		誰が・誰に)					事	業の目的	2.6	71 5% (2) &8				
			開発に	よって緊急な発掘	調査に対応するものつ	である。			扇がI	ニゴショ遺跡のヨ	見地	調査(106	(0 m²	を実施した。
		開発によって緊急な発掘調査に対応するもその規模によって、年度内に対応する場合と 協議し、調査を翌年度とするものがある。		内に対応する場合と、原	開発者と				整理等作業と執					
			協議し、	調査を翌年度と	するものがある。				0					
	事	事業の内容	内容:現	見地調査、出土品類	整理、報告書刊行。			成29年度						
							,	舌動実績						
		種別		指標の名	名称	単位		最終目標((首	平成28年度	亚	成29年度	F <u>7</u>	平成30年度
事		リエルコ	av. Im am.		710.			AXAK INTO		,				
未の			発掘調:	査面積(予定)		m²		-		400	400			400
事業の指標		成果指標 発掘調査面積(実績)			_		_	0		1,060			_	
1,5 .				T # 0.0 F	-		_	-1200			·) O / T II		
			区分 重支出金	(千円)	平成28年	<u></u> 0		Ψ	成29	<u>年度</u> 0		半成:	30年度	支予算 0
事		財 直	<u> </u>	(千円)		0				0				0
事業の	事業費	源地	5債	(千円)	_	0				0				0
コス	表費	訳して)他	(千円)		0			-	12,898				4,401
スト	_	<u></u>	段財源	(千円)		0				2				530
		事業	貴計	(千円)		0	12,900			12,900	4,931			
	3-2/-2/													

実施計画

	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
/	今後3箇年の展開	→	→	→
年度計画		・突発的な民間開発に伴う緊急 発掘調査に対応する。	・突発的な民間開発に伴う緊急 発掘調査に対応する。	・突発的な民間開発に伴う緊急 発掘調査に対応する。
画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	内容:現地調査、出土品整理、報 告書刊行。		内容:現地調査、出土品整理、報告書刊行。

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 突発的な民間開発の発掘調査に対して最善の処置をとりつつ、市内埋蔵文化財の保護に努める。			
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中)			
改善点		近年、1,000㎡前後の突発的な発掘調査依頼が増加している。 今後の改善事項 (ニーズ・課題等)				

事業概要

	車 数	又は事業の	力批	文化財普及啓発	中来						所	部	教	放育文化部	
	争伤	人は事業の	'白孙	又10的百次召光	尹未						管	課		文化課	
	\$	松合計画			ライフを楽しむまち【生	E涯学習:	·教育	育 】			ᅜ			事務	
	1	総合計画 該当施策			と担い手の育成						区分			事業	
				化財と文化資産						補助事業					
	教育	育振興基本計画 施策名	基本目差本的		学習の推進 統行事・文化財の保護と活用										
		行政改革												終了年度	
	ŧ	1 以 以 中 1 00 該当なし										業開始		* 年度	
			*h * + =	® ★ → シェ			文化財保護法第					了予定	*	* 年度	
	実別	を根拠となる	教育振興基本計画					根拠法令	又化	財保護法 第4	采				
事	分	野別計画						似拠本市							
事業の			野々市で	もが市民に					公共	の財産である文化	化財	について、	様々な	なイベントを诵	
柳			-3 ., .	,,					して	周知を図り、地域	の歴	史に対す	る理角	解を深める。	
概要		事業の対象 誰が・誰に)					事	事業の目的							
	(=	誰り、『誰に)							THE STATE OF THE S						
			当時の技法で製作体	験する。			夏休	み古代体験201	7						
			ア内にな	残る歴史真科で、: さと歴史館、郷土省	発掘調査で得た出土 料館等で展示・公開	品なと する。			埋蔵	体験の実施(通 文化財企画展「	「発掘速報!!!富奥の古代 開催 🔠				
			専門家	を招いて市内の戈	化財に関係する講演	会を開	・			ふるさと歴史講演会「クニのはじまり」開催 郷土資料館企画展「火の文化展」の開催					
	事	業の内容	催する。	文化財の説明板な	いどを設置する					食料館企画展! 財設服务板(10)	展「火の文化展」の開催 (10基)の設置				
			1137310	~ 10 kJ ♥> Dic-JJ1jX *6	こで 区域 巨 する。		文化树就明有版(()基)の改直				
市		種別		指標の名	名称 <mark>····································</mark>	単位	<u> </u>	最終目標係	直	平成28年度	平	成29年度	Ŧ	平成30年度	
事業の指標		普及啓発事業参加者数			人		3000		2512		2145		2600		
指		成果指標													
標		文化財説明看板設置数 ()は当該年度の 設置数		基		55	39(10)		49(10)			57(8)			
		区分 平成28年度				<u> </u>	成29	9年度		平成3	30年	度予算			
事			支出金	(千円)		1,000				1,050				1,000	
事業の	事	源地方	出金	(千円)		0				0				0	
のコ	事業費			(千円) (千円)		60				60				100	
コス	費		yie 设財源	(千円)		1.552				1.590				1.640	
٢		1		, , , _ ,						,				,	
		事業費	(at	(千円)		2,612		2,700				2,740			

実施計画

	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
- -	今後3箇年の展開	→	→	→
年度計画		古代体験(歴史館) 企画展(歴史館·郷土資料館) 有識者による歴史講演会 文化財説明看板活用事業	古代体験(歴史館) 企画展(歴史館·郷土資料館) 有識者による歴史講演会	古代体験(歴史館) 企画展(歴史館·郷土資料館) 有識者による歴史講演会

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		市民に文化財を広く啓発するため、各種企画展やイベントを継続して行っていく。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	文化財の説明看板設置後の活用: 今後の改善事項 (ニーズ・課題等)				例年行っているイベントのマンネリ化を避けるため、新たに創意工夫を凝らして事 。。

事業概要

	主杂	又は事業の) 夕称	重要文化財御紹	塚遺跡出土品保存修	(抽車業					所	部	教育文化	部		
	子加	人は 学来り	つつか	里女人们别问社	场退 奶山工吅体行修	/ 生 尹 未					管	課	文化語	R		
	4	総合計画			ライフを楽しむまち【生	涯学習·	·教育	î)			x		自治事務			
	1	総合計画 該当施策		じの継承と創造 比財と文化資産	と担い手の育成の活用						区分		ノフト事業 補助事業			
	数字	育振興基本計画		<u>し知こ又1し貝度</u> 票3 生涯学習の		·							州功尹未			
	4X F	施策名			云統行事・文化財の保護と活用											
	1	行政改革	00 該	当なし							市	事業の開 業開始	<mark>]始·終了年</mark> 平成23	度 年度		
	ŧ	推進項目	UU 33	自なし							_	^{未 囲}	平成23	年度		
			教育振	興基本計画					文化	財保護法31条	4.	, , <u>,</u> , , ,	1 1900 1	1/2		
事	美別	施根拠となる ↑野別計画	5				1	根拠法令								
事業の			野々市市	市が市民に					重要	文化財石川県御 万全を期し、貴重	経りなった	遺跡出土	品の保存管 展示公開を	理につ		
概要		業の対象					重	業の目的	郷土	に対する誇りと文	化則	オ愛護精神	を高める。	110.		
	(]	誰が・誰に)					7	·*^^ [1]								
		4. H. T. III. (1974) 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.														
		重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の4,21 ついて、展示及び保存・管理の万全を期すため 整理・展示作業を実施した。また、保存修理事業		9点に). 収蔵			・土者	器13点について言	羊細	复元を実施	į					
			整理・展	示作業を実施し	た。また、保存修理事	業として										
	4	事業の内容	め詳細	工製品542点の な復元作業、骨角	うち257点の破損防」 器23点の強化処理	と文化 平成29		成29年度								
			庁の指導	尊をもとに順次行	う。)	舌動実績								
_		種別		指標の	各称	単位		最終目標	直	平成28年度	平	成29年度	平成3	0年度		
事業の指標		ls en lle ler	重要文化財指定の土器・土製品・骨角器保存 修理点数 ()は当該年度の修理点数					280		104(14)		117(13)	128	(11)		
指標	,	成果指標	·					-		-		-	_			
		区分 平成28年		r ic		T/	成29) 左 庇		立むっ	0年度予算					
		国庫支出金 (千円) 3		3,100		4	13%, 25	7年度 2,800		十八,3	0年及了异 2,80	00				
事業の	由	財場	出金	(千円)						0			,	0		
のコ	事業費	源内記		(千円) (千円)		0				0				0		
コス	費		7他 2財源	(千円)		<u> </u>				3,151			3,18	•		
٢					6,573	5,951			5,984							
						•		5,551			3,334					

実施計画

Ī		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	- -	今後3箇年の展開	→	<i>†</i>	→
	年度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	指定品の収蔵展示作業と、土 器13点程度の詳細復元作業を 実施	指定品の収蔵展示作業と、土 器20点程度の詳細復元作業を 実施	指定品の収蔵展示作業と、土 器20点程度の詳細復元作業を 実

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な 文化遺産の展示公開を行い、郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	改善				

事業概要

	主教	又は事業の	夕新	文化財保存修理	車業					所	部	教育文化	部	
	争伤	スは争未の	白砂	义10的体件修理	尹未					管	課	文化課		
	,	総合計画			ライフを楽しむまち【生	E涯学習·	·教育	î)		IZ.		自治事務		
	ĺ	総合計画 該当施策			と担い手の育成					区分		ハード事業		
	41.0	to loom the latest)いちの歴史再 第3 生涯学習の						補助事業				
	教育	育振興基本計画 施策名			宝子音の推進 伝統行事・文化財の保護と活用									
		行政改革								_		始·終了年度		
	1	性進項目	00 該	当なし						_		平成23 平成43	年度 年度	
			教育振圓	·····································				文化財保護法第11			平,0043	平及		
	実	施根拠となる 分野別計画	7V H JW 2	金平山口				根拠法令		, , ,	3 110%			
事業	7.	了野別計画												
事業の			野々市市	が市民に				老朽化が進む国指定史跡の再整備の実施は、市民 文化財の魅力の再発見を促すとともに、文化遺産に						
概要	事	事業の対象					る野々市ブランドの							
女	(誰が・誰に)					=	来の日的	目指すものである。					
		末松廃寺跡は、指定地内の発掘調査を行って、史		、史跡、			中門推定地の調査	(220㎡)。 開催、一般向けに発掘調査現地説明						
			の保存整廃寺跡の	≧備を実施する。)再整備後に計画	卸経塚遺跡についてに 国を検討する。これらの	は、木松 り事業に			整備変貝会を2回開 会を開催。事業計画	l催、 の見	−般回けにst 直しを実施	ゼ掘調査現功 した。	2記明	
	_	- viv - 1	ついては	、組織した市遺呂	亦整備委員会によって	方針を	平成29年度 活動実績							
	月	事業の内容	策定し実	:1丁9る。										
車		種別		指標の	名称	単位		最終目標	直 平成28年度	平	成29年度	平成30	年度	
事業の指標	末松廃寺跡 発掘調査、再整備の進捗		%		100	50		55	60					
指	成果指標													
標														
		区分 平成28年度		度		<u> </u>	成29年度		平成3	0年度予算				
事				4,785			3,995			4,469				
事業の	事	期 県支		(千円) (千円)		992			1,074 0	1		1,192		
U I	事業費	内である		(千円)		0			0					
コス-	貫	一般		(千円)		3,990			3,039	3,314			1	
۲			9,767	8,108			8,975							
					9,767			.,			3,5.0			

実施計画

ſ		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	τ.	今後3箇年の展開	\rightarrow	\rightarrow	→
	年度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	金堂部分の発掘調査を実施する。 また再整備基本計画策定に必要 な情報の収集を行う。	金堂部分の発掘調査を実施する。 また再整備基本計画策定を策定 する。	講堂部分の発掘調査を実施する。

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		史跡公園の再整備を着手するために必要な発掘調査の成果をさらにあげていく 必要がある。そのために遺跡整備委員会を開催し、委員の意見を聞きながら事業 を進める。
自己評価	С	В	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善会 今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 中跡公園の再整備を着手するために必要な発掘調査会を開催し、委員の意見を聞きながら事業を進める。					必要な発掘調査の成果をさらにあげていく必要がある。そのために遺跡整備委員 事業を進める。

事業概要

	主教	又は事	業のタ	7 4 / ₅	文化振興総務費							所	部	教育文	化部	
	争伙	メは事	未のも	口小	人 11.旅典秘伤其							管	課	文化	課	
		総合計i	画			ライフを楽しむまち【生	涯学習·	·教育	〕			□		自治事務		
		総合計ī 該当施第	策		ヒ・スポーツ活動							区分		ソフト事業		
	44	- I - m ++ 1		<u> 巾</u> 基本目	民 <u>文化·市民芸</u> ? 票3 生涯学習の							単独事業				
	教	育振興基本 施策名			施策(2) 文化·芸											
		行政改革	¥											始·終了		
	1	11以以早 08 協働のネットワークづくり										_	業開始	昭和56	年度	
				数音振	振興基本計画			該当なし					了予定		年度	
	実	施根拠と	版機となる。 野別計画						根拠法令	PX	<i>7</i> 4.0					
事	7.	了野別司	「凹													
事業の					が市文化協会、 k伝承団体、一般	ジュニア文化・芸術サ	一クル、				析文化の香り高い 会及びその加盟					
概要	耳	事業の対		郷土云	尼伍承凶冲、一放	中氏に		_	=# A D M	化版の活	芸及いての加盟 動を支援し、自主 の普及促進や郷	.凹14 E的な	ベンユーア よ運営を促	又16・云10 す。また、し	じょんから	
女	()	誰が・誰	[に]					事業の目的 踊りの普及			の普及促進や郷	土芸	能伝承保	字を進める) ₀	
	市文化協会及びジュニ		協会及びジュニア	文化・芸術サークル、	郷土芸				文化協会への助!	龙及	び自主運営	官に向けた	体制づく			
				能伝承に	団体への活動助所 ら踊り講習会の関	文 昇催				り ・ジ-	ニア文化・芸術さ	ポサークルへの助成(5団体)				
					動団体への助成	O IE		・郷土芸能伝承団			L芸能伝承団体	体への活動助成(24団体) 習会の開催(各公民館・文化会館)全				
	특	事業の内	容						活動実績	・じょ 6回	んから踊り講習	会の	開催(各公	氏館・又化	公会館) 全	
											と活動団体への 決	舌動.	助成(4団·	本)		
車		種別			指標の名	吕称	単位		最終目標	直	平成28年度	平	成29年度	平成	30年度	
事業の指標		踊り講習会受講者数				人		280 1		197		127	2	00		
指	成果指標															
標		市文化協会加盟団体数		団体	団体 18			16	16			16				
		区分 平成28年度		芰		Ψ	成2	9年度		平成3	0年度予算	算				
事			国庫支		(千円)		0				0				0	
事業の	事	16	県支出 地方値		(千円) (千円)		0				0				0	
のコス	事業費	内 訳	その化		(千円)		0				0				0	
スト	貝	13/(一般則	才源	(千円)	4	1,806				4,717			4,3	399	
				1,806	4,717			4,399								
	于不来的 (11J/											•				

実施計画

Г		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	- -	今後3箇年の展開	→	→	→
]	年度計画	- W - I -	報支援	ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成	市文化協会の自主運営 ジュニア文化・芸術サークルの広 報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		市文化協会事務局のあり方について、協会側と協議検討していく。ジュニア文化・芸術サークルについては、会が継続的に活動していけるよう、会員募集等を広報等で引き続き掲載していく。文化活動支援事業においても、自主的・創造性のある団
自己評価	В	В	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	体に対して活動助成を行っていく。
改善点	今後の改 (ニーズ・i	ロナベ	市文化協会事務局のあり方につ 継続的に活動していけるよう、会員 造性のある団体に対して活動助原	員募集	継続して協会側と協議検討していく。ジュニア文化・芸術サークルについては、会が 集等を広報等で引き続き掲載していく。文化活動支援事業においても、自主的・創 テっていく。

事業概要

	主教	₹∇ <i>I</i> +	事業の名	7 称	市美術展							所	部	教育之	と 化部	
	子尔	八仏	事未の1	ጋ ተ ሆነ	叩夫彻胶							管	課	文化	比課	
	ţ	総合詞	計画			ライフを楽しむまち【生	涯学習:	·教育	育 】			区		自治事務		
	i	総合詞該当	施策		ヒ・スポーツ活動	活動の允美 B芸術の活性化						区分 ソフト事業 単独事業				
	#47 3	女性 卿 1	基本計画		<u> </u>							半低争未				
	YX F	施策		基本的	施策(2) 文化·封	芸術活動の推進										
		行政記	改革	00 =+	M + 1							古	事業の 業開始	開始·終了 昭和57		
		推進工		00 該当なし							^{未 円 炉} 了 予 定	昭和57 **	年度			
		- In II		教育振卵	興基本計画					該当なし	,	4-4	, , <u>,</u> , , ,		1/2	
事			心となる 計画					;	根拠法令							
事業の				野々市市が市民(市内に在住・通勤・通学してい			いる人、				美術活動の振	興と	その鑑賞	の機会を	設け、芸術	
概要	事	事業の	対象	市内の絵画教室・サークルに通っている人)に			± w = = ::		文化の点	高揚を図る。						
女	(]	誰が・	誰に)					事業の目的								
			美術作品の募集、審査、展示会の開催、優秀作品賞者への表彰式を行う。				F品受			第6回市	う美術展(通算 作品展示制	章36 田門・	回)作品	搬入:8月	24日	
									月10日 受賞		受賞作品数	示期間:9月1日~10日 表彰式:9 品数:46点 作品返却:9月10日				
	重	重業σ)内容						成29年度	~11日						
	3	F	, L J . Li					,	活動実績							
車		種類	别		指標の名	吕称	単位				成28年度	平	成29年周	平成	30年度	
事業の指標				美術展	乍品数		点	150		163			159		170	
指		成果	指標													
標																
				区分	_	平成28年	~		4	成29年			平成	30年度予	, ,	
事		財	国庫を	出金	(千円) (千円)		0				0				0	
事業の	事	源	リロックス		(千円)		0				0				0	
	事業費	内訳	その化	<u>b</u>	(千円)		35				35				35	
スト			一般則	才源	(千円)		532				658				643	
'			事業費詞	†	(千円)		567				693				678	
	李禾貝町 (1円)			0												

実施計画

Г		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	+	今後3箇年の展開	→	\rightarrow	→
) 	丰度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく。	芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		今後も、出品数・来場者数の増加につながるよう美術展開催の周知方法などを工夫しながら継続する。会場変更に伴い、これまでとは異なる層の市民にも広く美術活動を推進していく。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	出品数・来場者数の増加につなた	がる。	う美術展開催の周知方法に工夫が必要となってくる。

事業概要

	車森	マけす	事業の名	2 称	椿まつり事業							所	部	教育文化	化部
	子尔	スはま	未のて	ገ ተህነ	旧よ フグザ未							管	課	文化	課
	ž	総合計 該当施	·画			ライフを楽しむまち【生	涯学習·	教育	育】			区		自治事務	
	i	該当施	策		と·スポーツ活動 R文化·市民芸行							区分 ソフト事業 単独事業			
	教育	育振興基2 施策名			票3 生涯学習の							1		1 3 2 7 1	
		/LL		1 1 3 3 5 1 () THE STATE STAT							事業の開	始·終了年	度		
		行政改 惟進項		00 該	当なし							-	業開始 了予定	平成元 **	年度 年度
	 +	/- ±□ ±hn	教育振興基本計画						該当	iなし					
事		施根拠。 分野別記						7	根拠法令						
事業の				野々市市・市民が市民に						「郷」	土を愛し緑豊かな 、市指定花木「椿	住み	りよいまちこ ヘレスタ 種	くり」を推	進する
概要	事業の対象				重	事業の目的	化的	な潤いのある地域	或環:	ガして 谷惶 境と「賑わい	八を創出	する。			
	(誰が・誰に)														
	(フォルテ) アート・オブ・ツバキ、椿オリジナル		レステ			実行委員会など会議の開催(年11回)、近隣事業所・関係者へのポスター・リーフレット配布によるまつリア									
				ーシ、 かばき食	り紙コーナー、おっ :堂、囲碁・将棋コ	茶席、花と緑の市、特 ーナーなどの運営及	産物巾、 びそれ	がそれ		角 特 作	く者へのホスター・ こ品の募集・展示、	ー・リーフレット配布によるまつりPR、 示、会場準備			
	a	業の	力容	ら全般に (ののい	関わる実行委員ち椿館) 椿館ガイ	会等の開催 ドツアーの実施			成29年度						
				(協賛企	:画) ボランティ 市内ツアー	アガイドののいち里ま	ち倶楽る活動実績								
重		種別	J		指標の名	占称	単位		最終目標	直	平成28年度	平	成29年度	平成3	0年度
事業の指標				椿まつり	来場者数		人		7000		12600		7000	70	00
指標	成果指標動員職員数		人		40		14	13		1	3				
	区分		平成28年			<u> </u>	成2	9年度		平成3	0年度予算				
事		財	国庫支出		(千円) (千円)		0				0				0
事業の	事	源一内	地方值		(千円)		0				0				0
のコス	事業費	訳	その化	b b	(千円)		1,200				0				0
スト			一般則	才源	(千円)		6,974				4,336			4,3	36
	事業費計 (千円)			8,174		4,336			4,336						

実施計画

Ī		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	年	今後3箇年の展開	\rightarrow	→	→
	平度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		フォルテ会場、ののいち椿館会場の双方でのイベントの充実を図り、内容を検討していく。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中 F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	ののいち椿館でのイベントを充実	きさせ	て、来場者がより楽しめるような方法を検討していく。

事業概要

	事終	マは	事業の名	3称	椿サミット交流事	·····································						所管	部	教育文化	比部
	3.32	,, ,,,,	. 3.2/2.2	-113	111 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	- >/<						官	課	文化記	果
		総合	計画	0 該当	íなし							X		自治事務	NII/
		総合該当	施策									区分		ド・ソフト事 単独事業	業
	date:		基本計画	其木日ホ	票3 生涯学習 <i>0</i>) 推准								半低争未	
	叙	育 振興 施第	垂本計画 €名	基本的抗	施策(2) 文化·	元 芸術活動の推進									
		行形	(改革 0.0 (計24.5)					_		始·終了年					
		推進	項目	00 該	当なし							-	業開始 了予定	平成29 **	年度 年度
		なし					なし		亦令	」アル		平及			
	実	施根	処となる					,	根拠法令	0.0					
事	7.	了野万	引計画												
事業の概要	野々市市が全国椿サミット協議会加入自治体・全国の椿愛好家に				椿を	通した交流を図り	人野	な市ブラン	ドの発信を	:行う					
概	1	事業の	D対象	の格変が	ナ 外に			_	= #4 0 17 44						
安			誰に)					手	業の目的						
				日本ツバ	(キ協会加入					第28	8回全国椿サミッ	ト新	上五島大会	への参加	
			全国椿サミットへの参加 椿関係団体への活動補助						日本	ツバキ協会野々ī i助金の交付	々市支部に対する椿サミット参加事				
					2 PT - 100 / LL 30 IM 2	93		717	成29年度	ж III	切並の入门				
	Ę	事業の	D内容						·MZ3年度 活動実績						
		種	別		指標の	各称	単位		最終目標	直	平成28年度	平	成29年度	平成3	0年度
事業の指標				全国椿+	ナミット大会への	参加			1		1		1	C)
のサビ		成果	指標			> 75H			'						
標		7-242/4	311 100												
				区分		平成28年	度		<u> 17</u>	成20	9年度		平成3	0年度予算	
車		-	国庫	支出金	(千円)	1 772 0 1	0			PAL	0		1 7-20	- 1/2 3 71	0
事業の	車	財源	県支出		(千円)		0				0				0
の	事業費	源内	地方値		(千円) (千円)		0				0				0
コス	費	訳	一般則		(千円)		0				401			23	
٢			事業費割		(千円)		0				401				
			尹未頁		(十円)		U		401			230			

実施計画

Г		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	- -	今後3箇年の展開	→	→	→
]	年度計画	- W - I -		日本ツバキ協会野々市支部への 助成	日本ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への 助成 サミット大会参加費等

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善第28回全国椿サミット上五島大会に野々市市から44名参加し、野々市市をPRしながら、長崎県民をはじめ全国の椿愛好会や関係自治体との交流を図った。
自己評価		С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	第29回全国椿サミット御殿場大会に、より多く野々市市から参加し、野々市市をPRしながら、全国の椿愛好会や関係自治体との交流を図る。

事業概要

	市 茲	又は事業の	夕批	文化会館管理							所	部	教育文化	七部	
	争務	人は事素の	石仦	又10云路官珪							管	課	文化記	果	
	,	総合計画			ライフを楽しむまち【生	涯学習·	·教育	î)			IX		自治事務		
	ĺ	総合計画 該当施策		化・スポーツ活動 <u>民文化・市民芸</u>							区分		ソフト事業 単独事業		
	教育	育振興基本計画 施策名	基本目標	票3 生涯学習の)推進	進					十四千八				
		ル 東石	基本的	施策(2) 文化·	云何沽凱の推進							事業の問	開始·終了年	度	
	:	行政改革 推進項目	00 該	当なし						事	業開始	昭和62	年度		
		正连次口	=1.10.4			ı		I= 1	.,.	終	了予定	**	年度		
	実力	施根拠となる	該当な	L			4	根拠法令	該当	iなし					
事	5	予野別計画					1	区 灰地 本							
事業の概要			野々市市	市が市民に						・文化の中心施詞	ひとし	て浸透し	ている文化:	会館フォ	
概	ョ	事業の対象							ルテ	の維持管理					
安		(誰が・誰に)		事業の目的											
		・文化会館及び駐車場の借地用地に対する借地料の					也料の支払い								
			支払い ・文化会	館の維持管理					・設化	備改修					
	_	E# 6 + +					亚	成29年度							
		事業の内容						舌動実績							
		 種別		指標の	名称	単位	.	最終目標(直	平成28年度	亚	成29年度	平成3	0年度	
事業の指標		112/03	借地とし	て残っている用力		m²	•	3694.2		0		0)	
木のい		成果指標	得1094	4.2 m²)		111		3094.2		0		U		J	
指標		以 木伯宗													
	区分 平成28年度			<u> </u>	成2	9年度		平成3	0年度予算	Ī					
事							0				0				
事業の	事	財源内	出金	(千円) (千円)		0				0				0	
のコ	事業費	内でその		(千円)		372				372			3	72	
コス-	貫		財源	(千円)	1:	2,022				12,579			11,8		
٢		事業費	:計	(千円)	1:	2,394		12,951			12,188				
	于水泉山 (1137							,							

実施計画

	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
年	今後3箇年の展開	→	→	→
平度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	財政負担を勘案し現状を維持	財政負担を勘案し現状を維持	財政負担を勘案し現状を維持

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		文化会館管理上、必要な事業であり、段階的に借地用地の公有化を進めていく必要がある。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項 課題等)	文化会館管理上、必要な事業でな	あり、	段階的に借地用地の公有化を進めていく必要がある。

事業概要

	車怒	又は事業の名	2称 情劫	報文化振興財						所	部	教育文化	化部	
	7 177	人は事未の1		K 文 16]成 英 税 1	괴					管	課	文化	課	
	¥	総合計画			イフを楽しむまち【生	涯学習・	·教育			X		自治事務		
	1	該当施策		は、イヤン・ハウィンを果らりなり、工涯子自 教育が と、スポーツ活動の充実 会文化・市民芸術の活性化 単独事							ソフト事業			
												半 独争亲		
	教育	育振興基本計画 施策名	基本日信3基本的施策	:目標3 生涯学習の推進 :的施策(2) 文化・芸術活動の推進										
	1	行政改革										始·終了年		
	1	性進項目	00 該当) 該当なし						_	業開始 了予定	平成16 **	年度 年度	
			教育振興基	興基本計画			文化芸術振興基本				J J ~ _		十汉	
事	実が 分	徳根拠となる ↑野別計画						根拠法令	劇場、音楽堂等の活	性化	に関する法	律		
事業の				(公財)野々市	市情報文化振興財団	团·市民			市民の教養向上と芸					
概要		業の対象	に				_		のあるマルチメディア 寄与する。	/都市	の形成と低	E民福祉の	同上に	
安		准が・誰に)						業の目的						
			指定管理者	である(公財)	野々市市情報文化振 オルテの管理委託と加	長興財 毎記選			・施設の管理委託・施設運営と財団が	; が行う自主事業に対する補助				
			営及び財団	の自主事業に	対する補助	心以连			心改建古こが団が「	11 7 =	ユザ未に	VI A SUMIN		
	4	事業の内容						成29年度						
	7	未のり合					;	活動実績						
車		種別		指標の名	名称	単位		最終目標係	直 平成28年度	平	成29年度	平成3	0年度	
業の			文化会館フ	オルテ来場者	数	人		160000	117674		120000	130	000	
事業の指標	成果指標情報交流館カメリア利用者数		人		75000	71570	72000		720	000				
1,5 *			区分	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	平成28年	+		T/	-成29年度		で出っ	0年度予算	Γ	
=		国庫:	<u> </u>	(千円)	十八八〇十八	0		7	· <u>成29年度</u> 0		十八八〇	0十尺]/ 月	0	
事業の		財源内のインスのインスのインスのインスのインスのインスのインスのインスのインスのインス		(千円)		0			0				0	
の	事業費	内 地方		(千円)		0			0				0	
コス	費	訳を		(千円) (千円)	7/	0 6.734			77.021	0				
F				, , , = ,		,		77,031			78,088			
		事業費	T	(千円)	/6	5,734			77,031			78,0	88	

実施計画

	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
年	今後3箇年の展開	→	→	→
中度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	自主事業の充実と新たな事業の 研究	自主事業の充実と新たな事業の 研究	自主事業の充実と新たな事業の 研究

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善財団自主事業により、マルチメディア・芸術文化に親しむ機会の提供と市民参加型の芸術文化の活性化の促進を継続して行う。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	財団自主事業により、マルチメディア・芸術文化に親しむ機会の提供と市民参加型の芸術文化の活性化の促進を継続 して行う。

事業概要

	主教	又は事業の:	夕称	芸術鑑賞事業							所	部	教育区	文化部
	子尔	スは事業の	口心	云削嫗貝爭未							管	課	文化	七課
	3	総合計画		みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習·教育】										
	1	総合計画 該当施策									分		ソフト事業 単独事業	
	#h =	育振興基本計画		民 <u>文化·市民芸</u> 票3 生涯学習の									半供争未	÷
	₹X F	施策名	基本的	施策(2) 文化·	芸術活動の推進									
		行政改革	=+								=		<u>開始・終了</u> **	
	ŧ	推進項目	00 該	当なし							_	業開始 了予定	**	年度 年度
			教育振興	興基本計画										十尺
事	実別	施根拠となる }野別計画					;	根拠法令						
事業の			野々市市	bが、市内中学生	と、市内小学校5年生	に				もたちに優れた舞				是供し、鑑
概要	ョ	事業の対象					_	- *** +-	貨能	力の向上と豊か	な情	i操の幽養	を図る。	
安		誰が・誰に)					手	事業の目的						
		1.スクールシアター:劇団芸優座「一休さん」 2.古典芸能鑑賞教室:県内で活躍する邦楽家に						1.2	クールシアター	日時	5:6月9日	13時30:	分開演	
			演	去能鑑賞教室:県	内で沽躍する邦条家に	による公			对家 2.古	:市内小学校5年 典芸能鑑賞教室	F生 ! E	時:6月1	5日14時	開演
	_	E# 0 th					平	成29年度	対象	:野々市中学校会	è校s	主徒		
	手	事業の内容					,	活動実績						
事		種別		指標の名	名称	単位		最終目標	直	平成28年度	平	成29年度	平成	30年度
事業の指標			数值指标	票の設定になじま	ない	-		-		-		-		-
指		成果指標												
標														
	区分 平成28年度				4	成29	9年度		平成3	0年度予				
事		国庫支出金 (千円) 財 県支出金 (千円)		0				0				0		
事業の	事			0				0				0		
のコス	事業費	訳 ての1	他	(千円)		0				0				0
スト	吳	一般	財源	(千円)		534		684			978			
		事業費	計	(千円)		534				684				978

実施計画

Г		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	- -	今後3箇年の展開	→	→	→
]	年度計画		布水中学校:古典芸能鑑賞教室 市内5小学の5年生:スクールシ アター	野々市中学校:古典芸能鑑賞教室 布水中学校:オーケストラ鑑賞教 室 市内5小学校の5年生:スクールシ アター	教室 市内5小学校の5年生:スクールシ

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 小学生は5年生時に1回(スクールシアターまたは古典芸能鑑賞)、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞教室と古典芸能鑑賞を必ず1回は鑑賞できるよう、2つの中学校が公平になるように実施していく。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) G 廃止(今年度中)
改善点	今後の改 (ニーズ・i	U T'7	小学生は5年生時に1回(スクールシアターまたは古典芸能鑑賞)、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞教室と古典芸能鑑賞を必ず1回は鑑賞できるよう、2つの中学校が公平になるように実施していく。

事業概要

	車 数	: Σ /+ :	事業の名	7 1/1 1	文化財施設管理	申₩						所	部	į	教育文化部	
	事務	iXは [,]	事未の1	コイツ	义10别加改官垤	尹未						管	課		文化課	
	1	終会⋾	計画		よんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 国治事務 文化の継承と創造と担い手の育成 ソフト事業 プンプト事業 ファルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
	í	総合詞 該当別	施策	5 文(との継承と創造 とはなみルタラ	と担い手の育成							ソフト事業 ************************************			
	+/b	~ 1= m tu	****		<u>比財と文化資産</u> 票3 生涯学習の							単独事業				
	邻	声振與星				事·文化財の保護とシ	活用									
		行政は	步												·終了年度	
	1	性進攻	首目	00 該	当なし								業開始		** 年度	
				数音振	興基本計画				文化財保護法第4				了予定		** 年度	
	実施	施根拠	心となる	7X FI JIX 7	(坐不可回				根拠法令	市市郷土資料館 市市のるさと歴史	条例	第3条				
事	7	野別	計画							野々	市市ふるさと歴史	館第	€例第4条			
事業の				野々市市	が市民に						の歴史や文化財					
概要	4	事業の	対象					-	=₩ ~ □₩	る理	解を深め、住民に	上 注	E子音の機	云で	に提供する。	
女	()	推が・	誰に)					事業の目的								
				市内の	歴史や文化財に関	する資料を展示する	。郷土		・郷土資料館の管							
				貸料館の人	こふるさと歴史館? へ野々市市の文化	と歴史館を管理・運営し、市民及 市の文化を発信する。				.7/.4	るさと歴史館の管	埋·j	里宮			
	١.			, , , ,	23 17 17 27 11			37/	成29年度							
	- 手	¥の	内容						活動実績							
車		種別	別		指標の名	名称	単位		最終目標	直	平成28年度	平	成29年度	Ŧ	平成30年度	
事業の指標				来館者数	效(郷土資料館)		人		_		4104		3669		4400	
の指		成果排	指標													
標		来館者数(ふるさと歴史館)		人		_		4152	3676			4400				
		区分 平成28年		度		Ψ	成2	9年度	平成30		30年	度予算				
車		B-1		支出金	(千円)		0				0				0	
事業の	事	財源	県支b 地方(, , , , , ,		0				0	0				
のコ	事業費	源内	型力1		(千円)	0					0				0	
コス・	費	訳	一般則		(千円)	12	2,538				10,300				12,179	
٢			事業費記	:+	(千円)	11	2,538				10,300					
			ず 未貝	11	(113)	14	2,336			10,500	12,179					

実施計画

	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
±.	今後3箇年の展開	→	→	→
年度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	郷土資料館・ふるさと歴史館の 管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の 管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の 管理・運営

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善引き続き、適切な管理運営を行っていく。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	展示変更等を検討する。

事業概要

	主杂	. ∇ <i>l</i> +:	事業の名	之称 -	デジタル資料館	車 業						所	部	教育文化	部	
	子加	人(4)	事未の1	コ 化 か	ノフル貝科店	尹禾						管	課	文化部	₹	
	ź	総合言	計画			ライフを楽しむまち【生	涯学習:	·教育	計】			区		自治事務		
		総合記 該当加	施策		どの継承と創造 <u>と財と文化資産</u>	と担い手の育成 の活用						区 ソフト事業 補助事業				
	数字	5 振 卿 其	基本計画		<u> 1816 文化負性</u> ₹3 生涯学習の											
	3X F	施策		基本的旅	策(3) 伝統行	事・文化財の保護と	舌用									
	1	行政は	收革	00 =+	N/ +> I							古	事業の開 業開始	始·終了年 24	度 年度	
		推進項		00 該	当なし								^{末 円 炉} 了 予 定	**	年度	
				教育振興	基本計画					該当	iなし	η·<	,), VC		T/X	
事		施根扱 分野別	心となる 計画					7	根拠法令	拠法令						
事業の				野々市市	iが市民に					電子	データ化した野々	市市	の埋蔵文	化財·民俗	資料·	
概要		事業の対象(誰が・誰に)										のホームページ上に開設するデジタ 広く一般公開する。				
	事	事業の)内容	成した文 していく 平成24: 成	化財関係の電子 ものである。	タル資料館を開設し、 データを分野別に順 塚遺跡出土品」コン: 料館開設 テンツ追加	次紹介		成29年度 活動実績	郷土	のリンク修正及で 資料館展示中の 整理を行った。				い、デ	
+		種別	别		指標の名	名称	単位	-	最終目標	直	平成28年度	平	成29年度	平成3	0年度	
事業の指標			15-1 111	デジタル	資料館webペー	-ジへのアクセス数	人/年	Ξ.	1500		3409		3126	45	00	
指標	,	成果指標 (デジタル資料館紹介ページへのアクセス数)		人/年	Ξ	-		322	198 400		00					
	区分 平成28年度		度		Ψ	成2	9年度		平成3	0年度予算						
事	財 国庫支出金 (千円) 0 財 県支出金 (千円) 0					0				0						
事業の	事						0	0			0					
コ	事業費	では、			0				0							
スト	筫	D/	一般則	財源	(千円)		130		130				139			
			事業費割	i l	(千円)		130				130	139				

実施計画

		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
,	+	今後3箇年の展開	\rightarrow	→	→
J. J	丰度計画		市内文化財等のデジタルデー タ化、およびデジタル資料館での 掲載。	タ化、およびデジタル資料館での	市内文化財等のデジタルデー タ化、およびデジタル資料館での 掲載。

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		引き続きデジタル資料館のコンテンツを拡充していく。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中 F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	検索サイトからのアクセス数が減	がし	ているため、SEO対策等を検討する。

事業概要

	主杂	: ∇ <i>l</i> + :	事業の名	2 称	事業,一口市地内先	対 敷 借 に	伴う	緊 刍 祭 堀 調 海	本		所管	部	教育文	化部
	子加	八化:	事未ので	建版文记》 亚 乌								課	文化	課
	i i	総合言 該当放	計画 拖策	5 文化の継承と創造	5 文化の継承と創造と担い手の育成						区分	,	自治事務 \ード事業 単独事業	
	教育	育振興基 施策	基本計画 名	<u> </u>	D推進	舌用						-	干似于木	
	,	/= Tha	L-11	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								事業の開	始·終了	
		行政改 惟進項										業開始	**	年度
	実施	布根拗	llとなる	教育振興基本計画	教育振興基本計画			10 1m /	文化	財保護法第94・		<mark>了予定</mark> 条	**	年度
事		野別						根拠法令						
事業の概				野々市市が市民に					市市が調査原因 を刊行し、地域 <i>σ</i>				₁整理·報	
概要		事業の 誰が・					事	事業の目的	二日して、	市地内歩道整備 円滑な整備事業	の坦	≧蔵文化財 愛する。	発掘調査 [;]	を実施
	事	事業の		野々市市が調査原因者さ おける出土品整理及び幸 二日市歩道整備発掘調: 整理・報告書刊行	强告書刊行			成29年度 活動実績						
_		種兒	别	指標の	名称 名称	単位		最終目標	直	平成28年度	平	成29年度	平成	30年度
事業の指標		-≻-		発掘調査面積(二日市均	5道)	m ²		277	0			0		0
指標	,	成果排		報告書刊行		₩		2		1		1		1
				区分	平成28年			Ψ	成29	9年度		平成3	0年度予算	算
事		財	国庫を	<u> </u>		0				0				0
事業の	事	源	宗文章 地方信			0				0				0
	事業費	内訳	その代			0				0				0
ス	質	пΛ	一般則			500	920		920	0		0		
F		:	事業費詞	計 (千円)		500				920	0			0

実施計画

ſ		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	-	今後3箇年の展開	×	×	→
	年度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	平成29年度で事業終了予定。ただし、調査対象が新たに発生した場合、本事業は継続する。	平成29年度で事業終了予定。ただし、調査対象が新たに発生した場合、本事業は継続する。	

	前年度 次年月 自己評価 方向	向性 B 改	太大·重点化 枚善		
自己評価	С –	D 縮 E 終 F 紡	継続 宿小 冬了·完了(今年度中) 充合(今年度中) 怪止(今年度中)	理由	
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)				

事業概要

	市 茲	る又は事業の:	名称 喜多家住宅調査	事業					所	部	教育文化部
	争伙	スは 争未の	各夕然住七嗣自	.尹未					管	課	文化課
		総合計画		ライフを楽しむまち【生	涯学習·	自治事務					
		総合計画 該当施策	5 文化の継承と創造 2 ののいちの歴史再						区分		'フト事業 助事業
	数1	育振興基本計画	基本目標3 生涯学習の							T T	明功尹未
	3/1	施策名	基本的施策(2) 文化·芸術活動の推進					W BB	11. 45 		
	:	行政改革	00 該当なし						車	事業の開 業開始	<mark>始·終了年度</mark> ** 年度
	1	推進項目	00 成当なし						_	了予定	** 年度
	Ф.	施根拠となる	教育振興基本計画					該当なし			
事	大 / /	地板拠となる分野別計画				Į į	根拠法令				
事業の			野々市市が所有者・市民	に				喜多家においては、			
概要	4	事業の対象				-	[業の目的	についても文化財と 値を明らかにする。	-		
女	()	誰が・誰に)				争	乗の日的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	その上で、重要文化	財追	加指定を目	旨す。
			喜多家住宅の敷地内に	らいて、重要文化財と 「係建物の文化財的伝	して指定			調査報告書(案)を 指示を受ける。	文化月	テに提出した	。追加調査等の
			のなされていない酒造関いて、建造物の専門家に	協力を要請し、調査・	図面作			日かと文がる。			
	3	事業の内容	成を行う。その成果を基 財追加指定を目的として	こ、報告書を作成し、』 文化庁に具申する。	皇安文化		成29年度				
		, ,,, , , , ,				7	舌動実績				
車		種別	指標の	名称 	単位		最終目標個	直 平成28年度	平	成29年度	平成30年度
事業の指標			重要文化財追加指定		件		1	0		0	0
指		成果指標									
標											
			区分	平成28年			平	成29年度		平成30	年度予算
事		国庫支出金 (千円) 0 財 県支出金 (千円) 750 事業 地方債 (千円) 0 費 (千円) 0				<u> </u>	1		0 250		
事業の	事					0	1		0		
コス	美費				0			0			
スト		一般	財源 (千円)		1,588			0	1		1,538
		事業費	計 (千円)	2	2,338			0			1,788

実施計画

		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
年		今後3箇年の展開	→	×	×
中度計画	Ī	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	追加指定に向けての事務手続 最短の場合、追加指定へ	最短の場合、事業終了	事業終了

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 調査を継続して行い、重要文化財追加指定に必要な手続きを進めていく。 B 改善
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	県指定から重要文化財追加指定へスムーズに手続きができるように、県と協議を行う。

事業概要

事務又は事業の名称 四十万安養寺線外1路線整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査							叶 松 堀 調 本		所	部	教育文化	部		
争伙	文は争未の	台 柳	四十万女食寸脉	外「邱禄罡'''開事未に!	ボる垤殿.	X16	別光畑詗且		管	課	文化課			
	終合計画										自治事務			
	該当施策								分					
-	******									11	即争未			
数音振興基本計画 基本日標3 主社子目の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用														
	行政改革													
i	推進項目	00 該	当なし						_			年度 年度		
		四十万名	安養寺線外1路線	整備事業				文化財保護法94·9]]/)	十成31	牛皮		
実	施根拠となる	, , , , , ,	~ 12 3 (a) / 1 - 12 (a)	III NO 3-21C		1	根拠法令	×10/13/2/20	0) (
7.)到的间													
		野々市市	が市民に					四十万安養寺線外1	路線	整備事業予	定地における	る道路		
導	事業の対象					-	業の日始	に資するとともに、貴	重な:	埋蔵文化財	を的確に記録	禄保		
要 要 (誰が・誰に)			手	未の日的	存し、郷土の歴史を	明らか	いにする。							
		四十万多	安養寺線外1路線	整備事業予定地内に	分布す		上新庄チャンバチ			発掘調査(8	800㎡)及び	が出土		
		調査、出	土品整理及び報	告書刊行である。				品整理作業を実施し	た。					
_	- NV - 1 -	現地調査	査は平成29年度	で終了し、平成31年月	度以降	亚	成29年度							
듹	事業の内容	に発掘計	同宜報古書を刊行	「9 る才走である。										
	種別		指標の名	名称	単位	·	最終目標係	直 平成28年度	4	成29年度	平成30	年度		
		発掘調査	查面積		m²		-	2,788		900	0			
	成果指標	(面積未	決定により目標(直設定せず)	-		-	-		-	-			
	区分 平成28年度		度		<u> </u>	成29年度		平成30	年度予算					
	国庫支出金 (千円) 10,073					5,903)				
事							╂							
業	To To To To To To To To		0			0	1		(
貫			(千円)	1	8,587			5,193	0					
	事業費	計	(千円)	18	3,660			11,096	0)		
	実力 (総該 教育 振興 本名 本目 まま 本	総合計画 5 みん 5 文化 5 文化 5 文化 2 のの 5 次 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	総合計画 5 みんながキャンパス 5 文化の継承と創造 2 ののいちの歴史再 数 7 振順基本計画 基本目標3 生涯学習の 基本的施策(3) 伝統行 行政改革 推進項目 00 該当なし 実施根拠となる 分野別計画 野々市市が市民に 事業の対象 (誰が・誰に)	総合計画 5 みんながキャンパスライフを楽しむまち (生 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見 基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と 7 改改革 推進項目 00 該当なし 四十万安養寺線外1路線整備事業 7 定地内に 3 埋蔵文化財の発掘調査を実施する。内容は、調査、出土品整理及び報告書刊である。 現地調査は出土品整理及び報告書刊である。 1 現地調査は平成29年度で終了し、平成31年 1 に発掘調査 報告書を刊行する予定である。 第 発掘調査 面積 (面積未決定により目標値設定せず) 区分 平成28年 1 東支出金 (千円) 地方債 (千円) 地方債 (千円) 地方債 (千円) 地方債 (千円) 一般財源 (千円) (千円)	総合計画 5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見 基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用 7 改改革 推進項目 00 該当なし 四十万安養寺線外1路線整備事業 7 定地内に分布する埋蔵文化財の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理及び報告書刊行である。内容は、現地調査、出土品整理及び報告書刊行である。 中華 1 記書 2 9 年度で終了し、平成31 年度以降に発掘調査報告書を刊行する予定である。 第 発掘調査面積 ㎡ で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	総合計画	### 15 あんながキャンパスライフを楽しむまち [生涯学習・教育] 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見 基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用	### ### ### ### ### ### ### ### ### #	2	#務又は事業の名称 四十万安養寺線外1路線整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	#務又は事業の名称 四十万安養寺線外1路線整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査		

実施計画

	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
Ψ.	今後3箇年の展開	\rightarrow	×	×
年度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	出土品整理 報告書刊行	事業終了予定	事業終了予定

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善上新庄チャンバチ遺跡の発掘調査では、新規に古墳が発見されるなど野々市南部地域における歴史について新たな知見が得られた。今後は調査の成果をめ報告書を作成する予定である。	市 まと
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	
改善点	今後の改 (ニーズ・i	ロナベ	Ε新庄チャンバチ遺跡の発掘調査では、新規に古墳が発見されるなど野々市市南部地域における歴史について新た □見が得られた。今後は調査の成果をまとめ報告書を作成する予定である。	な

事業概要

	主政	又は事業	≚のタ	7称 文化課分(に	ぎわい交流ゾーン)					所	部	教育文化	部
	子尔	人は事え	トツエ	文化株刀(に	: 170 文加ノーン)					管	課	文化課	Į
	1	総合計画 該当施策	Ę	5 みんながキャンパ3 生涯学習社会の1 社会教育の充実		E涯学習 [。]	·教育	重点	コプロジェクトⅢ 関連施策	区分	/	自治事務 ヘード事業 浦助事業	
	教育	育振興基本計 施策名	†画	基本目標3 生涯学習		舌用							
		行政改革 00 該当なし					事		始·終了年原 平成28	度 年度			
	ł	推進項目								終	了予定	平成30	年度
事		施根拠と 分野別計画	なる	野々市市都市計画マス	タープラン		村	根拠法令	該当なし				
事業の								ヒト・モノの交流による力を活用して、以下の					
概要		事業の対象 誰が・誰に						事業の目的・市民サークル等の・市民と大学等との			が、		
	事	写業の内?			文化財を市民に周知す・誘導板の作成・整備を			H29年度の看板製作は実施せず H30年度設置予定の看板の内容等の検討を 平成29年度 活動実績				の検討を行 [、]	ò
由		種別		指標	D名称	単位		最終目標個	直 平成28年度	<u> </u>	成29年度	平成30)年度
事業の指標		D 000 H = 100		中央地区文化財看板	设置数	基		10	1		0	3	
指標	,	成果指標	Ř										
				区分	平成28年			平	成29年度		平成30	0年度予算	
事			国庫3 県支出	<u> </u>		145 0			<u>0</u> 			20	0
事業の	事	源一	也方信			0			0				0
コ	事業費	訳	その他	也(千円)				0				0
スト	只		一般則	才源 (千円)	150		0			361		
1,		事美	業費言	什 (千円)	295			0			56	1

実施計画

	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
年	今後3箇年の展開	×	×	×
中度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業終了	事業終了	事業終了

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善事業計画に則り、継続して案内板	页の設置を行う。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	
改善点	今後の改 (ニーズ・i	善事項	事業計画に則り、継続して案内板の設置を行う。	

事業概要

													₩ ₽	+	// ±0
	事務又は事業の名称中林土地区画整理事業に伴う発掘調査								所管	部 教育文化部		化部			
	,,		3 214 - 1	- 1.5		_ 3 2/4· = 1/ 2 2 3 A A 3	_					官	課	課 文化課	
		⇜ᄉ᠄	1. 声	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】								D.		自治事務	
	1	総合計画 該当施策		5 文化の継承と創造と担い手の育成								区分		ハード事業	
					上財と文化資産								1	<u> 甫助事業</u>	
	教育	育振興 施策		基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用											-
	1	行政	沙革	a a =+	ale to 1							事業の開始・終了年度			
	ŧ	推進工	頁目	00 該	当なし									平成28 平成36	年度
				取っ古さ	5中林土地区画物	対理事業				ナル	財保護法93条・			平成36	年度
			心となる	ןו נון זיינ±	1中州土地区 四五	E 任 尹 未		,	根拠法令	XIL	別体受仏33米。	337	™		
事	分	分野別計画				·	依拠 法 节								
事業の概要				野々市市	が市民に				中林土地区画整理				に分布する	遺跡の発	掘調査
概	_	ہم علاد ⊫								を実	施し、事業の円滑	な道	重行に資す。 クランク	るとともに、	貴重な
要)対象 誰に)					事	事業の目的に		を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な 埋蔵文化財を的確い記録保存し、郷土の歴史を明らか にする。				
	(1E /3	DEVC)							3 6					
									+ 17.7 to UT						
				中林土地区整理事業地区内に分布する末松遺 林イシガネ遺跡の発掘調査を実施する。内容は				跡·上 現地調査			は遠跡 調査				
				調査、出	* (2)(2)		面積:2,230㎡								
	_	事業の内容						平成29年度 活動実績		上林イシガネ遺跡					
	=									出土品整理					
										H28年度現地調査分					
事		種!	別		指標の名	S称	単位		最終目標的	直	平成28年度	平	成29年度	平成	30年度
事業の指標			発掘調査面積(予定)		m²		30,870		1,600		5,150	1	150		
が指		成果指標		成果指標				,					-		
標				発掘調査	発掘調査面積(実績)			-		1,600			1,880		-
				区分 平成28年					平成29年度				平成30年度予算		
事		財		上上金	(千円)		0		0			0			
事業の	事	源	県支b 地方値		(千円) (千円)		0				0				0
コス	事業費	源内訳	型力19 その他		(千円)		0			0 19,452				31.5	
	費	活	一般則		(千円)		0				6,703			51,0	0
٢							0				26,155			21 5	67
			事業費計 (千円)				U		20,100			31,567			

実施計画

		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
<i></i>	-	今後3箇年の展開	→	→	→
1	年度計画		現地調査 出土品整理 報告書作成		現地調査 出土品整理 報告書作成

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		中林土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な 進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確い記録保存し、郷土の歴史を明 らかにする。
自己評価	С	С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	
改善点	改善 善点 今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		該当なし		

事業概要

	事務又は事業の名称 西部中央土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査							所管	部	教育文化部			
	争務									課	文化課		
		総合計画	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】								1治事務		
	i	総合計画 該当施策	5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用							ハード事業 補助事業			
	教育	_{育振興基本計画} 基本目標3 生涯学習の推進								1	切乎未		
		施策名	基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用								U. 45 - 5 - 5		
	:	行政改革	00 該当なし						車	事業の開 業開始	<mark>始·終了年度</mark> 29 年度		
	1	推進項目	00 該ヨなし							了予定	33 年度		
	Ħ.,		野々市市西部中央地区:	上地区画整理事業				文化財保護法93条・			100		
事		施根拠となる }野別計画				;	根拠法令	CIUNI MIXAGON GON					
事業の			野々市市が市民に					西部中央地区土地区	画地	区内に分布	する遺跡の発掘		
概要		事業の対象			=	事業の目的 調査を実施し、事業 重な埋蔵文化財を自らかにする。			骨な進行に 記録保存し	資するとともに、貴 、郷土の歴史を明			
_	(誰が・誰に)			7								
			西部中央地区土地区画地区内に分布する田尻口遺跡・田尻ジッタ遺跡・蓮花寺アカグロ遺跡の				田尻ナワシロ遺跡						
			調査を実施する。内容は 告書刊行である。	理、報		都市計画道路 現地調査 面積:4 							
	事	事業の内容				平成29年度							
						.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		区画道路·調整池 現地調査 面積:380㎡					
								出土品整理					
車		種別	指標の	名称	単位		最終目標的	直 平成28年度	平	成29年度	平成30年度		
事業の指標		発掘調査面積(予定)			m²		9,260	_		910	600		
指標		成果指標	発掘調査面積(実績)	屈調査面積(実績)			_	_		910	_		
			区分 平成28年月				平成29年度			平成30年度予算			
事			支出金 (千円)				0			0			
事業の	事業費	源量			0			0			0		
U)		内である	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		0			9.062			5,153		
コス-	賀	一般			0			2,752			5,154		
٢		事業費	計 (千円)		0		11,814			10,307			

実施計画

		区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
-	τ.	今後3箇年の展開	<i>†</i>	→	V
	年度計画	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現地調査 出土品整理 報告書作成	現地調査 出土品整理 報告書作成	報告書作成 報告書刊行

	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大·重点化 B 改善		西部中央土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確い記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
自己評価		С	C 継続 D 縮小 E 終了·完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	91 313 10 7 08
改善点	改善 善 (ニーズ・課題等)		該当なし		

• (4-2) 学識経験者からの意見

文化振興においては、芸術・美術を鑑賞することによって市民の心の豊かさや創造性を育むことから、文化・芸術活動にふれる機会を多くするとともに、「芸術文化の香り高いまち」づくりを実践していただきたいと思います。地域の伝統芸能や伝統行事については、保存・伝承の推進と支援が望まれます。

文化財においては、郷土の歴史や文化財について市民にわかりやすく発信することが求められています。文化財企画展・市デジタル資料館の更なる充実、中央地区等における文化財説明板設置と郷土資料館やふるさと歴史館の活用、末松廃寺跡再整備の事業情報発信等による、ふるさと教育の教材の充実を推進していただきたいと思います。

• (4-3) 今後の方針

【文化振興関係】

- ① 優れた文化や舞台芸術に触れる機会の拡充に努めます。
- ② 文化関係団体を支援すると共に運営と活動の拡大を促し、市民が文化に親しみやすい環境づくりに努めます。
- ③ 地域芸術家との協働により、若い世代や一般の方々が芸術・美術にふれることのできる機会の拡充に努めます。
- ④ 地域に伝わる郷土芸能の保存伝承に努めます。
- ⑤ 椿まつりにおいて、中央公園会場など各会場イベントを充実させ、市内外に向けてツバキを通したまちづくりの発信に努めます。

【文化財関係】

- ⑥ 文化財企画展や古代体験学習、歴史講演会など、郷土の歴史を深める普及啓発事業の更なる充実に努めます。
- ⑦ 史跡末松廃寺跡の再整備に向けた調査と整備方針の検討を進め、市民に対し調査 状況等の情報提供に努めます。
- ⑧ 子どもたちにもわかりやすい富樫氏のマンガ本『八曜の剣』を広く周知することに努め、ふるさと教育の充実と富樫氏の発信を図ります。
- ⑨ 地域に残る各文化財について、わかりやすい説明・案内板の設置を進め、市民や 観光客への周知に努めます。
- ⑩ 郷土資料館・ふるさと歴史館の活用の推進を図ります。
- ① 喜多家住宅の重要文化財追加指定後の新たな保存活用方策等を検討し、本町通りのにぎわい創出に努めます。
- ② 市のホームページで文化財資料の公開・活用を行うデジタル資料館の充実に努め、 市民に広く周知します。
- ③ 重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の公開展示や文化財資料展示について充実に努めます。